

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	570 岡田大沢線道路改良事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	02	道路橋りょう費
基本 施策	50 市内道路網を機能的に強化する	目	03	道路新設改良費
		細目	346	道整備交付金
行革大綱の重点事項番号	4	細々目	52	岡田大沢線道路改良事業
担当部署	コード	191000	担当者	43 - 2329
	名称	産業建設部 建設2課	氏名	岩野 庄司 連絡先 (内線) 254

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	主に周辺住民及び清掃工場関係車両 ※対象件数 1地区
成果(どうする)	地元住民の生活・農業生産道路及び清掃工場関係車両のアクセス道路として、通行の利便性と安全を確保していく。
根拠法令・要綱等	道路法
開始年度	平成 18 年度
終了年度	平成 23 年度
H21 事業内容	護岸工 1式 (左岸) 道路改良 1式 (取付道路)
社会情勢の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	岡田、柏尾
2 建設面積 (延床面積)	計画延長L=96m(橋りょうL=47m)
3 規模・構造	幅員W=10.25m 道路構造令第3種4級
4 総事業費	800,000 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
道路改良延長	m	目標	0	0	0	96
		実績	0	0	0	
護岸改良延長	m	目標	220	71	291	52
		実績	220	71		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
道路整備による作業進捗		事業効果を高めるため短期間での事業完了に努める(執行事業費÷全体事業費)	%	目標	27	33	70
				実績	27	34	100
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	101,447	56,000	288,000	236,000
	県支出金	50,724	28,000	144,000	118,000
	地方債	48,100	26,600	136,800	112,100
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,824	1,400	7,200	5,900
事業投入人員費(B)		1.0人 7,200	1.0人 7,200	2.0人 14,400	2.0人 14,400
フルコスト(A)+(B)		108,647	63,200	302,400	250,400

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
<p><b>法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業</b></p> <p>個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業</p> <p>特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業</p> <p>事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業</p> <p>市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業</p> <p>市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業</p> <p>国や県、民間が同様のサービスを提供している事業</p> <p>市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業</p> <p>民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業</p> <p>受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業</p> <p>事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業</p> <p>【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】</p>	<p>市道岡田大沢線は伊賀市岡田地区の国道165号を起点とし、隣接する柏尾地区内へ連絡する地区内連絡道路で、片側1車線の車両対向に支障をきたしている幅員の狭い2級市道であるが、改良することにより、国道165号からの清掃工場アクセス道路と位置づけられ、加えて広域ネットワークの重要路線である広域農道接続道路としての機能を持つことになる。</p>
<p>財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業</p> <p>【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】</p>	
<p>事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。</p> <p>基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高</p> <p>サービス水準や対象を見直す余地がある。</p>	<p>清掃工場アクセス道路としての利便性、地域住民の生活道路としての安全性に寄与する。</p>
<p>当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】</p> <p>予算の繰越の有無 有</p> <p>【予算の繰越がある場合、繰越の種別】 繰越明許費</p>	
<p>他の事業主体の活用、事業移管が可能である。</p> <p>基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。</p> <p>【事業名】 地域活力基盤創造交付金事業 臨時地方道整備事業</p> <p>受益者負担を求めることができる事業である。</p> <p>全体コストにおける負担構成は適正である。</p> <p>コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。</p>	<p>事業効果を高めるため、短期間での事業完了に努め</p>

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	<p>起点側の国道165号の交差点となる箇所においては人家が連担しており、見通しが悪いため、改良に当たっては視距を確保し通行の安全性を確保していく。</p> <p>【状況】 計画のとおり進んでいる</p> <p>【詳細】</p>
昨年度の取組状況	<p>県警との協議により、信号機の設置を計画している。</p>

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中井 秀幸
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	<p>地元住民の生活・農業生産道路及び清掃工場関係車両のアクセス道路として、通行の利便性と安全を確保していく。</p>
現時点における課題、その他	<p>オオサンショウウオの生息地域であり、工事期間中の赤目のオオサンショウウオセンターでの飼育が必要である(受入個体数に制限あり)。</p> <p>教育委員会の現地調査において、既に完成している左岸側の様な護岸の状況では当面草が生い茂るまでサンショウウオの放流は難しいとの指摘を受けている。</p>
課題、その他に対する改善策	<p>教育委員会より整備された護岸が生息可能状況になるまで、飼育を指示された場合は施設での飼育期間を延長する必要がある。</p> <p>(工事区間お上流もしくは下流部への放流は共食いの危険があるとの専門家よりの指摘があるため)</p>
(いつまでに、何を、どうする)	